



日本共産党戸田市議団

左から つちやえみこ、むとう葉子、花井伸子、本田哲

平成29年度補正 戸田市 またまた貯金 27億円!!



私たちの負担は
増えるばかりなのに

戸田市はやっぱり
お金があるんだ



余剰金すべてを
基金に積み立てることは
税金の使い方として
バランスを欠いています



市民に還元
すべきです

つちやえみこ
市議

◆◆平成30年度 新たに増えた市民負担◆◆

国民健康 保険税

大幅に値上げ
加入者負担3億円増
「これ以上の負担たえられない」

所得割率9.15%→11.02%……………1.87%引き上げ
均等割38,500円→42,000円……………3,500円引き上げ

〈例〉年齢45歳・年所得200万円単身世帯

所得割税額220,400円+均等割42,000円=
税額262,400円……………40,900円の値上げ

おおきく減る市の負担

●市の一般会計からの国保会計への繰り出し額

平成29年度
約17億円

平成30年度
12億円

= 5億円も削減
(保険税値上げ分)
約3億円

●国民健康保険加入者の実態

所得200万円以下世帯が全体の83.4%
一般会計から繰り入れなしでは、とても無理。

●平成30年度から始まった国保の広域化

「被保険者の多くが低所得者であるにもかかわらず保険料が高い」という国保の構造的問題は何ら解決しないばかりか、大幅値上げでいっそう滞納者を増やす心配があります。退職後はみなさんが国保加入者。

日本
共産党
市議団は

- ①国が責任持って国庫補助金を増やすこと
- ②市は法定外繰入をしっかりと維持し、高すぎる国保税を引き下げること
- ③独自の減免制度の充実を行うこと

以上を求め、大幅値上げに反対しました。

介護保険料

「県内市で1番高い
介護保険料」
さらに値上げ!!

基準額は67,200円から69,300円へ2,100円の引き上げに!! 引き上げ分の総額は4,500万円です。

第7期(平成30年度～32年度)の介護保険料値上げが、日本共産党以外の全市議の賛成で決まりました。

全く成り立たない保険料値上げの根拠

市は「第1号被保険者(65歳以上)数が約1600人増加するとの見込みで、様々な介護サービスにかかる給付費を試算した結果、上げざるを得ない」と説明。

ところが実際には…

①65歳以上人口は平成32年段階で1168人増、給付費共に過大に見込みすぎ。

②さらに29年度2.55%であった国からの調整交付金が、平成30年度予算では1%しか見込んでおらず、実際には2.5%がくると。その差は8,700万円であることが判明。

むしろ、
引き下げることが
出来たのでは。

戸田市の介護保険料は3年前に大幅引き上げがされ、埼玉県内市で一番高い保険料となっていました。日本共産党市議団は、高齢者の声を受け「介護保険料の引き下げを求める署名」1951筆を提出しました。

福祉センター 利用料

登録団体への 使用料減免廃止

212団体が減免制度を受けられなくなり、「これ以上、活動は続けられない」との声が。自主的に活動を続けてきた団体への配慮を欠く新たな負担増(約500万円)に反対しました。

国いいなりの

「公共施設再編プラン」は問題あり!!

① 東小中学校の一貫校建て替えは見直しを!!

子ども達への負担は大きく、どんどん膨れる建設費用

東小 1999年
東中 2001年

耐震工事

東小 2015年

天井などの耐震工事
2億7000万円

2018年～

建て替え
80億円



拙速な建て替えに
反対する署名

反対署名
352筆!!

なぜ? 市が建て替えを必要とする理由

- ①教室不足
- ②建物健全度調査がAランクで、10年以内の建て替えが望ましい
- ③一貫校で建設すれば総工事費用が安くおさえられる

日本共産党市議団が計画の見直しを求める理由

- ①東中学校の空き教室利用やプレハブの設置で教室不足が補える
- ②同じAランクの美笹中学校は、2026年から2035年の「第2期」で検討となっている
- ③総工事費用は60億から80億に膨れ上がっている

② つづく戸田第一小学校の建て替え計画

2018年度
基本計画策定

2019年度
基本設計

2020年度
実施設計

2022年度～
建て替え

児童数1000人を超え大規模校となる時期に建て替えることは、子どもたちの教育環境に大いに支障を来すと考えます。国いいなりの公共施設再編プランは問題です。

③ 今後、こんな事も計画されています

公立保育園の民間移管。東部・新曽・西部の各福祉センターの廃止と跡地売却。少年自然の家・保養所「白田の湯」・市営住宅の廃止なども計画されています。

この計画は、
市民と共に見直す
べきです!!

みなさんの声を 議会へ届けました!!

- 家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレットの改善を。

全面リニューアルし、全戸配布する。

- 長期休み中、学童保育室で平常保育以外のお楽しみ会や行事など実施してほしい。

費用や実施場所等、難しいが内容の充実を検討する。

- 新曽第一区画整理地区・2号公園の南側道路への横断歩道を早急に設置して!

蕨警察署へ設置の要望を提出し、公安委員会からの審査結果を待っている。

- ボールが使える「青少年の広場」を増やして。

新たな私有地等が出た場合、関係部署と協議し、検討していく。

- 学童保育室では、インフルエンザによる学級閉鎖で、り患していない児童も入室できない。り患していない児童を受け入れてほしい。

感染防止のため、り患の有無に関わらず入室の受入れは実施しない。

- 子育てに、お金がかかりすぎる。学校給食を無償化して負担を軽くしてほしい。

本市の給食費は県内で最も低額。質と安全性を維持するため適正な給食費を徴収する。

新年度

進む 保育園待機児対策
一方で まだまだ課題も

日本共産党戸田市議団は「保育園待機児ゼロ」を子育て支援策の最重点課題として、長年粘り強く取り組んできました。

認可保育園6園が新設され、540名の受け入れ枠が増えましたが、4月1日現在、入所保留児童が130名(うち1歳、2歳児が103名)。低年齢児からの保育園の需要は年々増している状況です。受け入れ枠は増やしたものの、まだまだ課題は残ります。市は31年度さらに380人分の受け入れ枠を増やす計画です。「入れるかどうか心配」、今後もこうした不安や様々な課題が解決できるよう力を尽くします。

民主戸田

2018年4・5月号外

発行/日本共産党戸田市議団

連絡先/日本共産党蕨・戸田地区委員会 Tel.048-443-8332 Fax.048-444-6531
市議団Eメール t-kyosan@outlook.jp ホームページ <http://www.jcp-toda.net>

お気軽に
ご相談
ください。

生活相談

無料です

蕨・戸田地区委員会 ☎048-443-8332

戸田市の豊かな財政力は 市民のくらし優先に!

日本共産党
戸田市議団



新市長に問う 前市政の「どこを伸ばし
どこを変えるのか?」

2018年
6月議会報告

日本共産党戸田市議団 左から つちやえみこ 花井伸子 本田哲 むとう葉子

6月議会では、菅原文仁新市長の所信表明に対する各党の総括質問が行われました。日本共産党戸田市議団は花井伸子市議団長が代表して、総括質問を行いました。



花井伸子議員

花井 菅原市長は、これまでの市政のよい部分は思い切って伸ばし、変えるべきところは大胆に変えると述べた。共産党市議団は神保市政の20年間を総括して、国・県・市議の半数から合併を迫られたとき「市民にとって不利益」であることを知らせ、4市合併を阻止したことは評価しているが、後半の国の構造改革、地方再生の流れに従った市民サービス削減、市民負担増、建設事業優先の財政運営は変えていくべきと考える。菅原市長はどこを伸ばし、何を変えるのか。

見直すところは

市長 戸田市は人口が増加している一方で、昼夜間人口比率が減少しベッドタウン化が進んでおり、市内の「しごと」をする環境の悪化を懸念している。経済と雇用の好循環をつくるため、経済・雇用政策を大胆に実行し、地域経済の活性化に取り組む。

花井 来年度は消費税10%への増税が危惧されている。地域経済の活性化は消費のアップなくして存在しない。雇用対策と共に、市民生活への実質的負担軽減が求められる。来年度は幼児教育無償化で子育て世帯への負担軽減は図られるが、年金がどんどん減らされる中で介護保険料やサービス料が引き上げられ、高齢者のくらしは厳しさを増している。高齢者等への大胆な対策を求める。

財政運営について

花井 市長が言う「子どもにツケを回さない基本理念の徹底」とは。

市長 中長期的な財政収支の視点に基づき、政策決定を行い、質の高い事業を実行していく事が、将来へ「ツケ」を回さない健全な財政運営であると考えている。

花井 市長は市議時代、「子どもにツケを回さない」ことを理由に、高齢者・障がい者サービスの削減、料金の値上げには積極的に賛成してきた。財政が厳しいというならば、今後最大のツケとなる戸田東小中校舎一体型の80億円かけての建て替え、第一小学校の建て替えも含め改めて見直すべき。

伸ばすところは

市長 次代を担う子ども達の「教育」である。本市がおこなっているプログラミング教育や外国語教育、産官学民との連携による最先端の教育の流れを加速させ「教育日本一」のまちを目指す。

花井 「教育」問題を言うのなら、この間増えている不登校児童生徒の原因究明、対策にも力を入れるべき。

重点施策の進め方は

花井 市長が示した重点政策の中には、子どもの貧困対策、子ども医療費無償化の高校卒業までの拡大、幼児教育無償化、給食費の減免、地元企業への優先的発注の推進、ワンストップ相談窓口、工賃水準の向上と優先調達、シルバーパスの発行、マンション支援対策、(省略)等々、日本共産党戸田市議団が市政に要望してきたものも多くある。今後の進め方は。

市長 具体的な取り組みに関する4年間の実施工程表を作成し、実施内容や実施工程を市民の皆様に公表していく。さらに、毎年進捗状況を発表し説明責任を果たす。



民主戸田

2018年6月議会報告
発行/日本共産党戸田市議団

連絡先/日本共産党藤・戸田地区委員会内日本共産党戸田市議団
Tel.048-443-8332 Fax.048-444-6531

Eメール t-kyosan@outlook.jp
HP <http://www.jcp-toda.net>

只今、日本共産党戸田市議団では「市民アンケート」を実施しています。ご自宅のポストへ配布。ホームページからも回答いただけます。ご協力をよろしくお願いいたします。



一般質問



本田 哲議員



○東小中一貫校化と戸田第一小の建て替えの見直しを

本田 東小中学校の一貫校化の工事費用は、60億円から80億円に膨れ上がりコスト削減になっていない。教室不足対応は、東中学校の空き教室利用とプレハブ建設で対応できる。給食の食

数不足も新曽小学校に単独校調理場を建設すれば解決できる。全小中学校は耐震化工事、計画的な改修工事も行なっていて安全である。一貫校化せずとも諸課題

は解決できる。一貫校化により児童生徒は2000人規模となり、教育環境に大いに支障をきたす。校舎の代替地がない戸一小学校の建て替え計画と共に見直すべき。

市長 東小中学校の一貫校化は、校舎の老朽化と児童の増加に伴う教室不足を解消するため進めてきた。また、設計段階でコスト削減にも努め、工事中における様々な問題にも対応策を検討し説明してきた。議会でも議決を頂いてきたことを理解した上で、現在の計画は最善の選択であると考えており見直しは考えていない。戸一小学校も老朽化による建て替えであり計画どおり進める。

○新曽小に特別支援学級の設置を「平成31年度開設に向け検討している」

本田 新曽地域の小学校には新曽北小学校にしか特別支援学級が設置されておらず、現在、新曽小学校の学区から13人の児童が学区外である新曽北小学校まで通っている。新曽小学校に特別支援学級を設置すべき。

答弁 新曽北小学校の特別支援学級の児童数が多くなっていることから、新曽小との協議や児童の保護者の意向も十分に確認しながら開設に向けて準備を進めている。条件整備が整えば来年度から実施できるよう検討している。

本田 特別支援学級が設置されていない他学校への早期設置も求める。

○生活困窮者自立支援事業の充実を

むとう 生活困窮者自立支援事業は、経済的に困窮し最低限の生活ができなくなるおそれのある者に対し支援を行い、自立した生活に戻すための事業である。各部署との連携、市民への周知はどのように行なっているか。

答弁 相談窓口では、内容に応じて市の関係部署や専門機関に繋いでいる。周知方法としてパンフレットを関係各課に置き、市のホームページで事業の紹介をしている。

むとう 問題が深刻化する前に、家計相談支援事業を行なうべき。

答弁 現在行っている自立相談支援の中で、その相談

者に対し必要な個別支援を行なっている。

○交通事故の防止対策を

むとう 県道オリンピック通りとあすなろ通りが交わる交差点は、道が急カーブしているため、見通しが悪く大変危険である。先日車と自転車の事故があった。今後の市の対策は。

答弁 県道を管理する埼玉県と市、蕨警察署の関係者が近日中に現場検証を行うことになっている。

むとう 抜本的な解決までの間、緊急策がとれないか。

答弁 道路標識の塗りなおしや注意喚起等の看板の設置を行なう。

○期日前投票所の増設・環境整備を

むとう 商業施設内での期日前投票所の検証は。また病院等での投票においてプライバシーが守られていないとの声がある。環境整備をするべきでは。

答弁 イオンモール北戸田店と協議を重ねており、来年3つある選挙のどこからかで実施する。病院等での投票は、選挙の日に実施施設に対し注意喚起していく。

むとう葉子議員



つちやえみこ議員



○コミュニティバスの充実を

つちや 利用者が増えているトコバスの充実について。
①各路線共に両回り運行の実施を。
②停留所に椅子の設置を。
③suicaなどのICカードの利用、定期券の発行を。
④高齢者、障がい者のトコバス運賃を無料に。

⑤近隣の公共施設がわかるように音声案内の見直しを。

⑥運行改善のための利用者アンケートの実施を。

答弁 ①車両の購入費や維持費、人件費などの負担、一方通行等の問題もあり両回り運行は困難である。②安全性、利便性など総合的に検討し判断する。今年度は戸田公園駅前ロータリー、北戸田駅前のバス停留所にベンチを設置する予定である。③新たな財政負担が発生する。定期的に利用する方は回数券や1日乗車券を利用していただきたい。④高齢者や障がい者の外出支援、健康増進などの施策を考えることも大切であり、今後のコミュニティバスのあり方や財政状況など関係部署と検討する。⑤適切な時期に対応できるよう運行事業者

と協議する。⑥市民ニーズをどのように捉えていくことが有効なのか、アンケートの実施も含め研究する。

○防災無線の充実を

つちや 情報の入手として一番大切で身近な防災無線が聞き取りにくいとの声が多くあがっている。今後予定されている防災ラジオ購入への助成を。

答弁 先行して導入している他自治体の状況等をふまえ検討する。

つちや 高齢者など誰もが購入しやすいよう自己負担の軽減を強く要望する。

安倍首相

国民生活基準は削り、友人には大盤振る舞い

10月から生活保護基準額引き下げに「国民全体の生活基準が下がる改悪」

日本共産党戸田市議団は反対

政府自民・公明、維新は、今年10月から以後3年間の生活保護基準額を引き下げることを決めました。その影響は戸田市生活保護受給世帯の約7割におよび、3年間で5%もカットされます。(2013年の見直しにおいては、3年間で1割もの大幅に引き下げがされました。)

生活保護基準は全ての国民が文化的で最低限の生活を守る基準となるもので、生活保護受給者だけの問題ではありません。住民税非課税世帯の基準が下がり、今まで無税だった人が課税となる他、生活保護基準を目安として利用条件が設定されている教育・福祉・介護に関する利用料や減免制度など多方面に大きな影響が及びます。基準は引き下げるべきではなく引き上げるべきです。地方議会は「仕方がない」ではなく、国に対し市民の生活を守る立場で意見を上げるべきです。

「加計学園」疑惑の徹底解明を求める意見書 他党派の同意得られず国会提出ならず

「加計学園」の獣医学部開設をめぐり、愛媛県が国会に提出した文書に、安倍晋三首相と同学園の加計孝太郎理事長が2015年2月25日に面談し、学園の獣医学部新設について説明を受け、安倍首相が「獣医大学の考えはいいね」と応じていたことが明らかになりました。

マスコミ等の世論調査でも、安倍首相や柳瀬氏の国会での説明で「疑惑は晴れていない」が83%、「朝日」5月21日付)、首相の説明に「納得できない」が77%、「読売」同日付)にのぼっています。国家の最高決定機関である国会での虚偽答弁、文章の隠ぺい・改ざん等をこのまま放置することはあってはならないことです。日本共産党戸田市議団は加計学園獣医学部開設をめぐる疑惑を徹底的に解明することを求める意見書など4件の意見書を提出しましたが、他党派の同意が得られず提出することができませんでした。



△…調整の余地あり ×…反対

意見書名	みらいの会	平成会	公明党	戸田の会	無所属
「加計学園」疑惑の徹底解明を求める意見書	×	×	×	△	△
学校教職員定数の大幅増員と学級編成基準の見直しを求める意見書	×	×	×	△	△
環太平洋連携協定(TPP)を批准しないことを求める意見書	×	×	×	×	×
子ども医療費の無料化を(国の制度とする事)を求める意見書	×	×	×	△	△

「豊かな財政は

市民のくらしに生かすべき」



花井伸子



本田 哲



つちやえみこ



むとう葉子

2017年度決算 戸田市の財政力 県下1位

日本共産党戸田市議団は「豊かな財政はくらしに生かせ」と訴え、決算に反対しました。

財政力指数 1.234



- ・10億の増収 給与所得者などの人口増で、市税が前年度比3.7%増える。
- ・27億円を18年度に繰越す
- ・27億円の積立て 公共施設等整備基金に21億円(基金総額39億円) 財政調整基金に6億円(基金総額49億円)

決算で反対した主な事業

●議員の海外派遣旅費

目的や行き先を定めず予算化するのを改めるべき

●大型開発優先へと繋がる、立地適正化計画・都市マスタープラン見直しなどの検討業務

都市計画は、地震やゲリラ豪雨などの災害対策を優先させるべき

●戸田東小・戸田東中校舎の一体化で、2000人規模となる改築等設計業務

子ども達の教育環境を考えるなら、校舎一体型の建替えは改めるべき

党市議団の一般質問

- Q** 地球温暖化が要因となる災害が連続している。温室効果ガス排出量の削減、再生可能エネルギーのビジョンは。
- A** 総合的取り組みを進める中で、再生可能エネルギーは重要。太陽光発電の更なる普及に向け働きかけを継続する。
- Q** 8月に入り関東を中心に風疹感染が広がっている。早期対策が必要。予防接種、抗体検査の周知徹底と予防接種費用の市の独自助成を。
- A** 県の無料抗体検査等広報やホームページで注意喚起する。今後の流行状況を注視し、予防接種助成については慎重に判断する。
- Q** 市営住宅募集回数を増やし、入居世帯人数要件の緩和を。
- A** 可能な限り募集回数を増やすとともに世帯人数要件の緩和も検討する。
- Q** マイナンバー利用は、情報漏えいの懸念から利用を拒否する方がいる。市の対応は。
- A** 拒否する方には、必要な添付書類の提出をお願いしている。
- Q** 重度心身障害者の入所施設を戸田市にもつくるべき。
- A** 新たな施設整備は難しい。
- Q** LGBTQ等、性的少数者に対する支援体制は。
- A** 学校では、男女共同参画の資料をもとに授業で話をするとともに、一部の学校では、図書室や保健室に関わるポスターを張り、相談体制を整えている。市役所窓口における申請書類では、男女の記入欄に配慮する。
- Q** トラブル防止のため訪問販売の登録制度をつくってはどうか。
- A** 事業者を市で把握できることはメリットだが制度化は難しい。
- Q** 消費者庁から行政処分を受けた悪質業者の押収した顧客リストの情報提供を受け、特に見守りが必要な対象者のリストを作成し、二次被害防止につとめてはどうか。
- A** 「消費者安全確保地域協議会」を設置し、検討する必要がある。先進自治体の取り組みを参考にして研究する。
- Q** 戸田市奨学金の全額返済を給付型、半額返済奨学金へ見直しは。
- A** 戸田市奨学金制度へ見直す考えはない。
- Q** 戸田市の催告書にある「差押え」となると、あなたの社会的信用は大きく失われます」と脅しとも取れる文言は削減すべき。
- A** 催告書作成から年数も経過している。議員指摘の記載文章の取り止めも含め見直しをする。

国民健康保険税の医療費分課税限度額を54万円から一気に58万円に上げ、2年連続の値上げで6万円もの値上げになります。

国が各自治体の国保加入者の実態を無視して、自治体の一般会計からの繰り入れを無くすよう指示しているが、所得200万円以下世帯が全体の約83%を占めている国民健康保険。保険者である自治体の繰り入れ

国民健康保険税 限度額連続値上げ6万円増

この条例改正は、県が重度心身障害者の医療費助成に所得制限を導入する事から、市もこれに合わせて所得制限を導入するものです。

「負担の公平性」を理由にしていますが、何を持って公平というのか、本制度の趣旨からすれば、逆に対象となる重度の障害者間に不公平感を招くこととなります。県内市町村においても、県の制限分を独自に負担し制度を維持する自治体もあります。



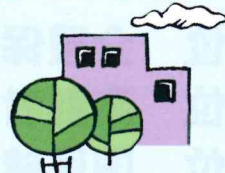
持する自治体もあります。重度の障害を持つ方々が、生きていく上で必要な医療に関して、新たに多大な自己負担を課すことは制度の趣旨からも反します。埼玉県1位の財政力はこうしたところにこそ活かすべきです。

重度心身障害者医療費に所得制限 新対象者は来年1月、既存の対象者は34年10月から

既存の対象者は34年10月から

要求実現! イオンモール北戸田に 期日前投票所

「期日前投票所を笹目コンパル以外に作ってほしい」との要望や投票率UPのため、イオンモール北戸田に期日前投票所の設置を求めてきました。現在、来年4月の県議会議員選挙から「イオンモール北戸田」で期日前投票が出来るよう調整が行われています。



市民請願

「立憲主義を堅持し、憲法9条改定に 反対する意見書の提出に関する請願」

賛成：日本共産党戸田市議団
反対：みらいの会、平成会、公明党、戸田の会、無所属



他会派の賛同を得られず不採択となりました。



「市民の切実な声に応える予算編成を」

日本共産党戸田市議団「2019年度予算要望書」を提出

※予算要望書の全文は、党市議団HPでご覧頂けます。

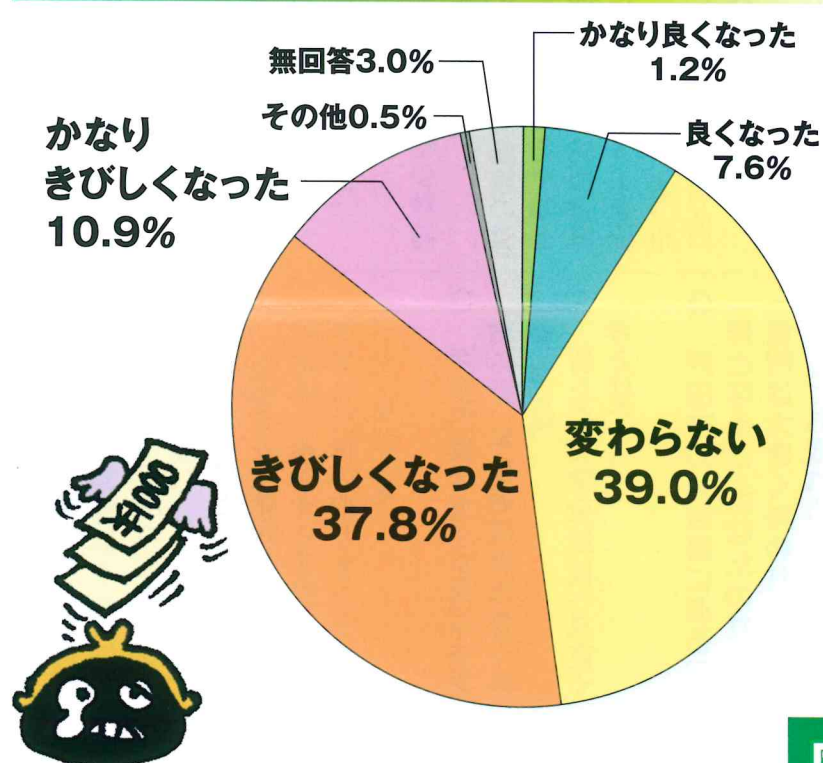
- 戸田市立市民医療センター、白田の保養所、少年自然の家、福祉センター、公立保育園などの公共施設の民営化・廃止はしないこと
- 公共施設の長寿化の徹底を
- 保育園待機児・保育士確保・雇用の充実を
- 高校卒業までの医療費無料化を
- 駅自転車駐車場の利用料引き下げを
- トコバスの両回り運行と、75歳以上・障がい者の料金を無料に
- 国民健康保険税・介護保険料の引き下げを
- 市役所における障がい者雇用を適切に満たすこと
- ゲリラ豪雨の対策を優先に

重点項目



10月5日、日本共産党戸田市議団は菅原文仁市長に、「市民アンケート」で寄せられた市民の声を盛込んだ2019年度予算要望書を提出しました。

暮らし向きは1年前とくらべて



理由は

- ・ 昨年より年収が減った 32.3%
- ・ 昨年より年収が増えた 8.1%
- ・ その他 25.7%
- ・ 無回答 34.0%

「変わらない」との回答でも「収入は変わらないが、保険料、物価、消費税、公共料金が増えて大変」という記述が多数。

「良くなった」では、「子どもの学費がかからなくなり楽になった」などの回答がある一方、「きびしくなった」「かなりきびしくなった」では、「子育てや子どもの学費や教育にお金がかかりすぎて大変」という声や、「年金が減っていく中で、保険料や公共料金が高くて生活がやっと」という声が多数寄せられました。

党市議団が今年8月から取り組んできた「市民アンケート」に、421通の回答(10月9日時点)が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

暮らし向き

「変わらない」39%も保険料などの支出が増えて大変

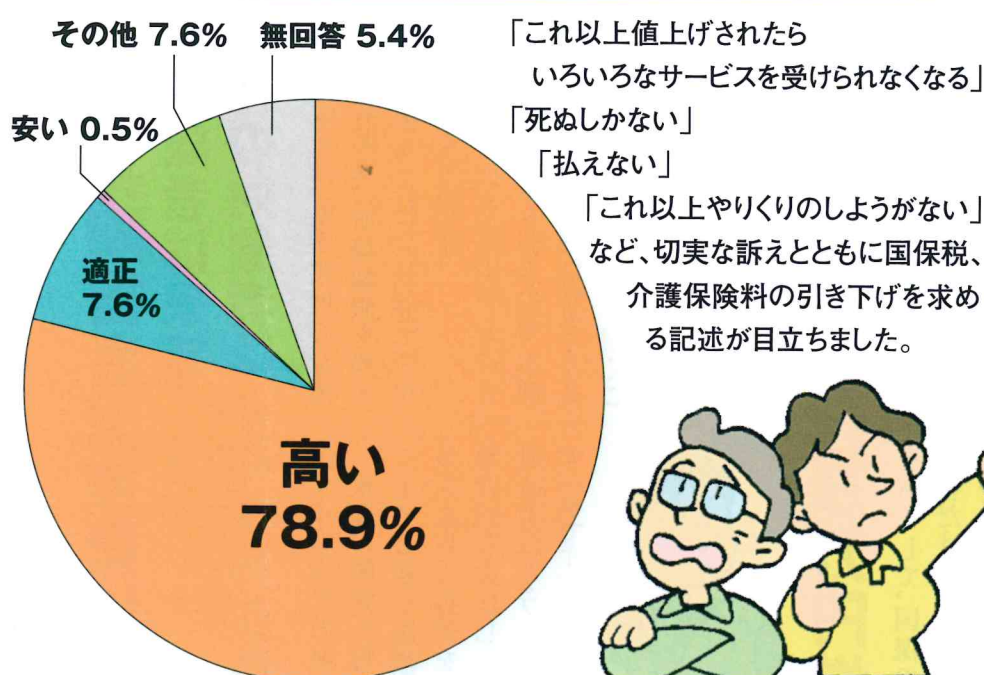
アンケート結果報告

市議団HPでご覧頂けます。

市政で力を入れて欲しいことは

(上位10位)		
1位	介護保険料	41.1%
2位	高齢者対策	37.8%
3位	国民健康保険税	35.4%
4位	防災対策	25.9%
5位	歩道整備	22.3%
6位	子ども医療費高校までの無料化	22.1%
7位	トコバス	21.6%
8位	埼京線の終電延長	21.1%
9位	環境問題(河川・騒音・臭気など)	20.2%
10位	自転車道	17.8%

国民健康保険税・介護保険料の大幅値上げ



「これ以上値上げされたらいろいろなサービスを受けられなくなる」「死ぬしかない」「払えない」「これ以上やりくりのしようがない」など、切実な訴えとともに国保税、介護保険料の引き下げを求める記述が目立ちました。



公共施設の再編計画を知っていますか

- ・ 知っている 20.7%
 - ・ 知らない 58.4%
 - ・ よくわからない 14.7%
 - ・ 無回答 5.5%
- 「知らない」「よくわからない」を合わせると73.1%の方が計画を知りません。

議員に期待することは (上位3位)

- 1位 市民の声を聞き市政に反映する 67.7%
- 2位 市の税金の使い方をチェック 61.0%
- 3位 清潔な政治 33.5%